

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

会員限定 HP の閲覧

シーズンパス会員



年会費 5,000円

年間のリーグ戦が無料で観戦可能

同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

同時入会だとさらにお得！

色紙
プレゼント

→中大座談会の様子



中大・駒大座談会
更新
→駒大座談会の様子

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7F

(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ

E-mail: kuss@jufa.jp TEL: 03-3830-1850

「アミノバイタル」カップ2015

第4回関東大学サッカートーナメント大会【結果】

優勝：明治大学（2年ぶり2回目）

準優勝：筑波大学

3位：流通経済大学

4位：法政大学

5位：東洋大学

6位：専修大学

7位：平成国際大学

★以上の7大学は関東代表として8月7日から行われる
第39回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに出場します。

WELCOME イベント新景品登場

ご来場回数ごとに景品・応募権が GET できるお得なイベント「WELCOME イベント」に新景品が登場しました。

サッカー観戦時に必須アイテム、

「クッションシート」。

スタンプが5個貯まった方はミカサバッグかクッションシートを選んでいただけます。無くなり次第終了となりますのでお早めに♪

※スタンプカードは後期も継続してご利用いただけます。



JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM



Division 2 2015-No.11

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ

前期リーグを優位に折り返すのは…？

『JR東日本カップ2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦』2部は、『アミノバイタル』カップ2015 第4回関東大学サッカートーナメント大会』による3週間の中断期間を経て、ついに前期リーグ最終節を迎えた。ここで第10節を振り返ってみよう。

青学大は筑波大との一戦。早い時間帯に先制を決めるも、昨年度1部リーグを戦い抜いた筑波大に怒涛の反撃をくらひ、逆転勝利を許した。同じく昨年度1部の東国大は上位・関学大を相手に思うようなプレーができずに苦戦。関学大が得点を奪うとそのまま逃げ切った。勝ち点差が1の拓大と産能大は、前半で拓大が2得点を挙げ、産能大は追い付くことができず拓大が勝ち点3を手に入れた。ここまで負けなしの日体大は東洋大との上位対決。試合はなかなか動かず五分五分の試合に。チャンスをものにしたのは日体大。78分、80分と連続して得点を奪い、勝利を手にした。日体大はここまで10試合負けなしの記録を伸ばした。東学大と朝鮮大はどちらか目が離せない！

得点ランキング	アシストランキング
進馬 将也(東洋大) 10点	高野 遼(日体大) 6アシスト
藤井 貴之(日体大) 7点	木村 魁人(関学大) 6アシスト
北川 柊斗(筑波大) 7点	仙頭 啓矢(東洋大) 6アシスト
中野 誠也(筑波大) 7点	戸嶋 祥郎(筑波大) 5アシスト
以下 6点 5名	以下 4アシスト 3名

も譲らず、両校なかなか得点を決められない。そのまま試合は終了し、勝ち点1ずつを分け合った。現在最下位の東海大は日大から先制点を奪うことに成功し、第10節にして初の白星を挙げた。後半からの巻き返しに期待がかかる。

前期リーグを優位に折り返すのはこの大学になるのか。前期リーグ最終節を迎える今節も、若き選手たちはここまで10試合負けなしの記録を伸ばした。東学大と朝鮮大はどちらか目が離せない！

JR東日本カップ2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦 2部星取表

[2部第10節終了時]

JR東日本カップ2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦 2部																			
チーム名	日体	関学	筑波	東洋	青学	東学	朝鮮	東国	拓大	産能	日本	東海	勝点	試合数	勝数	敗数	引き分け	得点	失点
日本体育大学			100	200	301	200	201	300	201	401	500	100	30	10	10	0	0	25	4
関東学院大学			403	301	502	504	100	100	102	201	300	301	27	10	9	0	1	28	14
筑波大学	001	304			301	001	402	502	400	501	402	201	21	10	7	0	3	30	15
東洋大学	002	103			400	101	002	000	201	401	400	701	17	10	5	2	3	23	11
青山学院大学	103	205	103	004		100	303		101	200	401	201	14	10	4	2	4	17	21
東京学芸大学	002	405	100	101	001		000	200		202	001	100	12	10	3	3	4	11	12
朝鮮大学校	102	001	204	200	303	000		000	303	101		201	11	10	2	5	3	14	15
東京国際大学	003	001	205	000		002	000		200	204	100	300	11	10	3	2	5	10	15
拓殖大学	102	201	004	102	101		303	002		200	101	202	10	10	2	4	4	13	18
産業能率大学	104	102	105	104	002	202	101	402	002		101		6	10	1	3	6	12	25
日本大学	005	003	204	004	104	100		001	101	101		001	5	10	1	2	7	6	24
東海大学	001	103	102	107	102	001	102	003	202		100		4	10	1	1	8	8	23

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」



PRECRUIT

サッカー部はジールで決める！

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



筑波大学 VS 東洋大学

6月13日(土)
11:30
流経大G

2部から総理大臣杯出場を決めたチーム同士、そして昇格争いに向け負けない3・4位チームの対戦だ。
3位・筑波大は前節、青学大に3-1で勝利。アミノバイタル杯では教育実習で不在の選手もいることから総力戦で挑み準備を整えた。東海大、早大、神大、流経大に勝利し、決勝も明大の堅い守備を崩せなかったものの試合は0-0 (PKによる敗戦)。3年ぶりの総理大臣杯出場権の獲得は、1部復帰を目指すリーグ戦にも良い影響をもたらすか。

対する4位の東洋大は前節、首位の日体大に0-2で敗れ、昇格圏とは勝点10差。これ以上離される訳にはいかない状況だ。総理大臣杯初出場を決めたアミノバイタル杯では東学大、国士大、そしてメンバーを入れ替えながら専大に勝利してチーム全体の底上げも図れてムードは良い。重要な前期最終節をモノにできるか。

3回警告：遊馬将也(東洋大)
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

若杉拓哉(筑波大・FW・4年)

0-1で負けている中で途中出場だったので、流れを変えること、点を取ることを考えて入った。フアストシュートを外してしまったので、次のチャンスは絶対に狙っていくと考えていて、その気持ちが得点に繋がったと思う。

次節は、4位・東洋大との負けれない試合なので、何が何でも勝って上位に昇りたいという気持ちだ。



石坂元氣(東洋大・DF・4年)

10節の相手は首位の日体大で、自分たちは上位の2チームとは勝ち点が離れているので、勝つという雰囲気チームで作ってきた。点を取れば、点を取れるところで取れなかったり、点を取れないところでも取られたりしてしまい、残念な結果に終わってしまった。

今節も相手も順位が上の筑波大なので、勝ち点を少しでも高められるよう頑張りたい。



関東学院大学 VS 日本体育大学

6月13日(土)
11:30
日体大G

今季最初の天王山は勝点3差での対戦。首位・日体大が前期全勝という偉業を成し遂げるが、それとも関学大がそれを阻止して勝点で並ぶか、注目の一戦だ。

その関学大は前節、東国大に1-0で辛勝している。3人の出場停止という大ピンチを総力戦で乗り切った。初の全国大会出場への挑戦は、青学大にはアディショナルタイムでの得点で勝利したが、平国大に0-2と完敗して夢破れた。残された今季最大の目標のため、日体大の堅い守備を崩したい。

その日体大は前節、東洋大を2-0で退け10連勝。アミノバイタル杯は教育実習の影響もあり、1回戦は日大に延長で辛勝したが2回戦で流経大に敗れた。今季初の敗戦だったが、リーグ戦では堅実な「負けないうサッカー」を表現し続けている。11連勝と首位固めを狙いたい。

3回警告：なし
出場停止：高野達(日体大)
昨年度の対戦：関学大2-2 日体大/関学大0-0 日体大

石家龍成(関学大・FW・1年)

今節は、警告の累積でいつものメンバーが何人か出していないという状況であったが、そのような状況でこそチームの力が試される場だと感じていた。その中で全員でしっかり勝って取った勝ち点3は大事だと思う。

次節は、上位対決で大事な試合になると思うので、また勝ち点3を取ることにこだわって戦いたい。



大石賢悟(日体大・MF・3年)

今節はDFの増谷さんが(出場停止で)いなくて、守備の部分で苦しい部分はあった。しかし、なんとか身体を張って守って、0で抑えて最後2点を取って勝って良かった。

現在、10連勝しているの、最終節も勝って11連勝、全勝で前期を締めくくりたいと思う。



東京国際大学 VS 青山学院大学

6月13日(土)
11:30
東国大G

8日に後退してしまった東国大は前節、関学大に0-1で敗れた。相手に複数の出場停止者がいたが、逆にが絞れずボール支配を許し、被シュート数は少なかつたものの前半に喫した1失点が最後まで響いた。アミノバイタル杯では、1回戦で駒大相手に先制したものの1-2と逆転負け。ここ数試合はシュート数の少なさが気になる。前期、上位グループに食い込んで終われるか。

対する青学大は前節、筑波大に先制しながら1-3で敗れて今季初の連敗。さらにアミノバイタル杯1回戦では関学大と対戦し、終始押し込みながら得点できず、後半アディショナルタイムにワンチャンスを決められ敗れた。現在5位で、昇格圏とは既に勝点13の差がついている。3連敗中と調子を落としているが、後期の巻き返しに向け、是が非でも白星で終わりたいところだ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

本多崇弘(東国大・FW・2年)

今節の試合は、(関学大に)先制されて試合運びも厳しいシーンが多かった。そこからメンバー全員で一致団結して一点決めたのが、決めることができず悔しい。

今期はあまり勝っていきにくく、何よりも勝ち点3が欲しいので、次節はみんなでも一つになって勝ちたい。



堤勇人(青学大・DF・3年)

(青学大が)先制点を取ったにもかかわらず後半に3失点をししまい、とてもつらい試合だった。復帰戦だったので体力も90分持たせようという気持ちもあったが、それよりも最初から全力でプレーしきろうと思っていた。

最終節は勝つ良い形で前期リーグを終えて、後期リーグにつなげたい。



拓殖大学 VS 東京学芸大学

6月14日(日)
11:30
早大G

9位・拓大と6位・東学大の勝点差は2。勝ち切れない試合も多い両チームだが、前期最終節の結果はいかに。

拓大は前節、産能大に2-0で勝利し、ようやく今季2勝目を挙げた。アミノバイタル杯では桐蔭大と対戦し、先制しながら追い付けれ延長・PK戦で惜敗。とにかく勝ち切れないことが今季の課題だ。攻撃の組み立てにスピードもあり、決して試合内容は悪いわけではない。リーグ戦は連勝で終え、後期の巻き返しにつなげたい。

一方の東学大は前節、朝鮮大とスコアレスドローに終わっている。攻め続けながら決定力不足に泣いた。失点は減っており、総失点は現在リーグ3位だが、アミノバイタル杯では東洋大に5失点を喫した。得点も2点を奪う打ち合いの展開となったが、リーグ戦では守備への意識は取り戻せるだろう。まず1点を奪うことが課題だ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：拓大0-3 東学大/拓大4-1 東学大

池田直樹(拓大・DF・3年)

今節は、久しぶりに勝利することができ嬉しかった。個人的に、得点を決めれるシーンがもっとあったので、追加点を取れたらよかったと思う。

次節は、後期につなげるために絶対に勝って、良い雰囲気でも前期を締めくくりたい。



吉田一彦(東学大・DF・3年)

試合中、何本かチャンスにつながるクロスを上げられたが、得点にはつながらなかったのが残念だ。強いチームは大事なところで決められるので、自分たちの課題はそこできに守り切るかなと思う。

もう勝つしかないの、次節は自分たちのサッカーをして、しっかりと勝って前期リーグを終わりたい。

産業能率大学 VS 東海大学

6月14日(日)
11:30
東海大G

10位・産能大と12位・東海大の対戦は、下位同士だが勝点2差のお互い重要なゲーム。加藤望監督と後藤太郎監督の、東海大同級生対決にも注目だ。

産能大は前節、拓大に0-2で敗れた。勝ち切れない3連続ドローの後の敗戦は、全体的に主導権を握りながら、守備時の簡単なミスや集中力の欠如から失点を喫した悔やまれる内容だった。攻撃面でも光るものは持っているだけに、単純ミスを減らし久々の勝利に手をつけたい。

対する東海大は前節、日大に1-0で勝利し、ようやく今季初白星を手にした。お互いに決定的なチャンスはそれほど多くない内容だったが、前半の1得点を守り切ったの待望の初勝利で自信を取り戻すことができたかどうか。アミノバイタル杯では筑波大に0-3と完敗したが、残留争いで重要な一戦に全力を注ぎたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

岡仲嶺(産能大・FW・2年)

最初は自分たちのペースだったが、一点も決めず悔しい。自分が途中出場したら点を取り返そうという気持ちで入ったが、決められなかった。次節は最終節、前期の中で一番大切な試合だと思っているので、点を取って活躍したい。



羽毛真斗(東海大・MF・3年)

ずっと勝っていないで勝ってほしいので、やっと勝ち点3を取れてよかった。あまり自分のゴールは覚えていないが、(ゴールが)入ってみんな喜んでいたのでよかった。

次節も、勝ち点3を取って後期リーグに繋げたい。

日本大学 VS 朝鮮大学校

6月14日(日)
11:30
朝鮮大G

11位の日は前節、東海大に0-1で敗れて今季初勝利を献上してしまっ。25分の失点後により早くエンジンがかかり始め、特に後半は主導権を握ったが、フィニッシュに持ち込めなかったのはわずかつた。アミノバイタル杯では、結果的に無得点だったが日体大を延長戦まで苦しめ(0-2の敗戦)、やや明るい兆しも見え始めた。

第3節以来の勝利を手にして折り返すことができるか。対する朝鮮大は前節、東学大と0-0で引き分けた。10試合で半数の勝ち点分だが、復帰1年目で上位グループに肉薄しているという点では一定の評価ができるだろう。序盤は思い切りの良い攻撃を見せる一方で大味な試合が多かったが、中盤以降は守備も意識した結果、攻撃の勢いが消えてしまった。守備に注力しつつも、攻撃のサポートを厚くしていけるかどうかが鍵だ。

3回警告：韓男(朝鮮大)
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

梅津駿(日大・DF・3年)

自分たちが主導権を握れると思っていたが、思うようなサッカーができなくてセットプレーで簡単に失点してしまった。前半でプレーを改善できなかったことが今節の原因であり、次節への課題だと思う。

次節は、後期リーグにつなげるために、何が何でも勝ち点3を取りたい。



李在根(朝鮮大・DF・4年)

前節までしばらく負け続きで、連敗を止めたいと思っていたので、自分がやるべき仕事をしっかりとこなすことを意識した。危ないシーンもあったが、チームのためにキープチャンとしてどこまでできるかと考えたら、自分のプレーはしっかりこなせた。

自分たちが目標としているのは関東1部リーグなので、次節は無失点で勝ち、順位を上げたい。